

2023年4月7日

日本ペイントグループ中期経営計画（2021-2023年度）進捗説明会 説明要旨



皆様こんにちは。日本ペイントホールディングス共同社長の若月です。
本日はご多忙の中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

これより、「中期経営計画（2021-2023年度）」の進捗についてご説明いたします。

3-1. 自律型サステナビリティ体制の深化①

「アセット・アセンブラー」モデルによりMSVを実現する「サステナビリティ基本方針」を制定

サステナビリティ基本方針

日本ペイントグループは、環境など自然資本の保全・多様性の確保などによる人的資本の拡充・社会課題を解決するイノベーションの創出などを持続的な成長の機会と捉え、グループを構成するパートナー会社が、サステナビリティ戦略を自律的に策定し事業活動を行います。そのうえで、適切なグループガバナンスのもとマテリアリティに関するリスク・機会を把握し、顧客・取引先・従業員・社会などへの法的、社会的、倫理的責務を十分に果たしたうえで、経営上の唯一のミッションである「株主価値最大化 (MSV)」を実現します。

変更のポイント

	ESGステートメント		サステナビリティ基本方針
MSVの位置付け	持続可能性改善計画を推し進めることは、新たな事業機会やMSVにつながると記載	>	MSVをサステナビリティのゴールとすることを明示
事業モデル	塗料とコーティング事業を前提に策定。達成するためのアクションに言及	>	「アセット・アセンブラー」モデルに基づくサステナビリティ基本方針を策定
策定手続き	ESG委員会 (当時) を中心に議論し、取締役会に報告 (2020年8月)	>	取締役会にて議論し、決定 (2023年3月)

17 ページ以降でサステナビリティ戦略のアップデートをさせていただきます。

まず、従来の「ESG ステートメント」に取って代わり、「サステナビリティ基本方針」を直近の取締役会で決議しました。MSV がゴールであることをより明確化したほか、「アセット・アセンブラー」モデルに基づくものであり、中央集権的な進め方ではない点は従来説明してきた通りです。基本方針はそれを具現化したものとなります。

3-1. 自律型サステナビリティ体制の深化②

MSVをゴールとするビジネス主導の自律型サステナビリティ体制に進化

	ESGマネジメント体制（～2021年） トップダウン型	サステナビリティ体制（2022年～） ボトムアップ型
体制図	<p>取締役員会 報告(年4回) 委嘱 代表執行役共同社長 対話 ステークホルダー ESG委員会(委員長:代表執行役共同社長) 対話 外部有識者 指名 委嘱 提案 ESG推進部 ワーキングチーム 対話 国内外パートナー会社、各機能部門</p>	<p>取締役員会 報告(随時) 委嘱 取締役 代表執行役共同社長 対話 ステークホルダー 外部有識者 指名 委嘱 提案 サステナビリティ部 5つのグローバルチーム 環境&安全 人とコミュニティ インベーション ガバナンス 調達 対話 国内外パートナー会社、各機能部門</p>
取締役員会による監督	ESG委員会から取締役員会に報告	チームリーダーが共同社長に直接報告。共同社長は取締役員会に進捗や提案を随時報告
戦略策定～活動	<ul style="list-style-type: none"> ESG委員会が戦略、方針、活動計画を策定 ESG委員会の直下にワーキングチームを設置。先進事例の共有、グローバルで達成すべき目標の設定と各地域の状況に即した対策を立案 	<ul style="list-style-type: none"> MSVをゴールとするビジネス主導の自律型サステナビリティ体制 マテリアリティをベースとした3つの柱^{*1}とマテリアリティを横断する2つの柱^{*2}でチームを編成






NIPPON PAINT GROUP ※1 環境&安全、人とコミュニティ、イノベーション ※2 ガバナンス、調達


サステナビリティ体制についても既にご説明してきた通りであり、2021年以前のホールディングスからのトップダウン型ではなく、現場・ビジネスを主導とする体制に2022年から変更しています。ビジネスから選ばれた各リーダーはグローバルな視点で積極的に取りまとめし、その進捗や提案をおおよそ四半期に一度の頻度で共同社長へ報告してもらっています。

P19以降は各チームの取り組みについてまとめています。世の中から要請される内容、程度も随時変化していますので、世の趨勢をしっかりと見極めながら、MSVの前提であり、MSVに直結するための「ステークホルダーに対する責務の充足」を図りたいと考えています。詳細については、割愛させていただきます。

3-4. ESGインデックス/格付評価

活動の進捗と開示強化によりGPIF採用の全ESGインデックスに採用。各ESG格付スコアも向上

ESGインデックス		~2019	2020	2021	2022
	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数	2018年9月~			
	MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)	6月~			
	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	6月~			
	FTSE Blossom Japan Index	6月~			
	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	3月~			

ESG格付		2019	2020	2021	2022
	気候変動	D	C	B	B
	水リスク	D	B-	A-	A-
MSCI	ESG格付	BBB	A	A	A
FTSE	ESGスコア	2.1	2.3	2.5	3.5

NIPPON PAINT GROUP 25

25 ページでは、当社活動の進捗に加え、開示の強化が奏功し、GPIF の全 ESG インデックスに採用され、スコアも向上していることをご報告いたします。